

ICT活用プロジェクト・インクルーシブ教育プロジェクト

合同夏期講座の報告

大阪府支援教育研究会 研究部 平峰 厚正

今年の合同夏期講座は、大阪教職員会館（たかつガーデン）を会場に2日間開催しました。当初は、夏期講座の募集を会場参加とWeb参加の2通りで行っていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で8月初めより、Web参加のみの募集となりました。会場参加で申しこまれた方々には、Web参加への変更をお願いすることとなりましたが、参加方法の変更にご協力いただきありがとうございました。また、Web参加への変更ができず、今回の講座参加を見合わせた方々には申し訳ありませんでした。新型コロナウイルスの感染が続く状況では、来年度の夏期講座の開催方法も会場参加とWeb開催の2つの募集方法で実施する予定ですが、新型コロナウイルス感染状況によっては、今年度と同じくWeb参加のみ（会場参加で申しこまれた方はWEB参加へ変更）の募集となるかもしれませんので、ご了解下さい。

講座の様子

①初日の8月18日開催 A講座「これからの指導・支援に必要な遠隔学習について」

講師：金森克浩先生（日本福祉大学 教授）

講座内容&紹介

これまで遠隔学習は、様々な理由で教室に通えない人や学校に児童生徒を集められない状況等、一部または限定された児童生徒が対象と考えられがちでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため全国の学校で長期間の休校措置が実施され、どの学校でもこれから取り組んでいかなければならない学習方法と考えられます。

これからの指導・支援に必要な遠隔学習について、特別支援教育におけるWebを利用した情報関連支援機器等の情報提供体制や利活用、また特別支援教育におけるコミュニケーション支援に精通された金森克浩先生に教えていただきます。

<A 講座参加者の感想、アンケート（「実践に取り入れたい」と思った理由）の回答内容 等>

・これからの時代、オンラインの活用は必須だと感じたから。オンラインを使った教育を、より良い形で取り入れられる体制を整えていきたい。

・普及の16%のグラフがとても納得できました。先生方にICを普及させるためのヒントをいくつかもらいました。特に、“ICTは文具”という意識を他の先生が他にも広めていきたいと思います。

・医療的ケアが必要で通学が困難な生徒の授業づくりに活かしたいと思います。ただ、一方では自立活動中心の生徒へのオンラインの授業づくりの限界も感じています。

②二日目の8月19日開催 B講座「パワーポイント 新しい3つの活用のカタチ」

講師：稲葉通太先生（大阪府立堺聴覚支援学校教諭・NPO法人デフサポート大阪副理事長・関西学院大学非常勤講師）



講座内容&紹介

特別支援教育の世界ではパワーポイントの使い手として有名な稲葉先生による、ワークショップを含んだ講座です。基本的な使い方から、この間の新型コロナウイルス感染症対策下でのオンラインでの活用方法など、教材作成ツールとしてのパワーポイントの活用方法を教えていただきます。

＜B講座参加者の感想、アンケート（「実践に取り入れたい」と思った理由）の回答内容 等＞

・私の支援教室に難聴の生徒がいます。口頭では学習内容を理解するのが難しいところがあるので、パワーポイントを活用したいと思ったからです。

・実際にパワポ教材作成していきたいと思います。正方形のトリミング機能知らなかったです…神機能ですね！

・稲葉先生のYouTubeを勉強して、個別の課題のプリントを作成しています。マウスを使わずに作業する技を本日も教えていただいたことでもっと楽に作業できそうです。ありがとうございます。

③二日目の8月19日開催 C講座「「コロナの新しい時代だからこそ、ネットと子供の上手な付き合い方ー『知らなかった』から『聞いたことがある』を目指して」

講師：山口あゆみ先生（株式会社ニコニコム 子供とネットを考える会運営）



講座内容&紹介

新型コロナウイルス感染症対策として、全国的に非常事態宣言の元、長期間の学校休業が行われました。慣れないネット対応に追われた学校からの発信を児童生徒とその保護者はどのように感じていたのでしょうか？また、その際課題となる「ネットの安全な利活用」についてどう考えていけば良いのか？子を持つお母さんの声をヒントに皆さんと一緒に考えたいと思います。

＜C講座参加者の感想、アンケート（「実践に取り入れたい」と思った理由）の回答内容 等＞

・タイムリーなお話で、とても参考になりました。

・コロナ感染予防に配慮しながら、学ぶ機会を与えてもらったこと。

＜その他の感想＞

・今回は参加できなかったのですが、オンライン研修会の在り方や有効活用の方法を学びたいと思いました。また、参加したいです。